

座談会参加者



役場企画財政課担当  
古林主査



空き家掘り起し調査員  
尾上さん



売り手  
大澤さん



東京都出身  
買主さん

どんな家でも欲しい人がいる！

# 空き家 座談会

空き家を持っていても、いろんな理由で手放せない方がいるかと思えます。今回は、空き家の悩みを持つ方向に向けて、同じ悩みを持っていた空き家のオーナーを招き、座談会を行いました。

思い出深い『我が家』

**古林** 売却を決断された経緯や、売るにあたっての気持ちなどを聞いてみたいのですが、はじめにこの家について教えてください。

**尾上** 大澤さんはこの家でお生まれになったと伺いました。

**大澤** そうですね。私は、産院じゃなく、この家で誕生しました。

**古林** 生まれて何年くらい住んでいらっしゃるんですか？

**大澤** ここで、20代後半まで、30年近く住んでいました。その後は、仕事で県外への転勤をきっかけにここを離れて、あとは両親だけが住んでました。

**古林** ご両親だけが住んでいた時には、たまに帰ってきていたんですか？

**大澤** そうですね。休みや連休の時は戻ってきていました。

**古林** ご両親がこの家を離れたきっかけは？

**大澤** 両親が一時入院し、帰ってきた時に、この家はバリアフリーではないので不便でした。父が亡くなってからは母が独りで住んでいたんですけど、骨折を機に姉の家に同居する形で、空き家になりました。それからずっと、7年くらい空き家でした。

**古林** その間、大澤さんが定期的に来て、管理を？

**大澤** そうですね。たまに来て、空気の入替をしていました。身内の人も来て泊まることもありました。リノットとは言えませんが(笑)、避暑地としてエアコンがついていないんですよ。

**古林** いらないんですか？

**大澤** そうなんです。2階は当然暑いんですけど、熱気が上に行くので、1階はそこそこ涼しいですね。

**古林** 冬はどのくらいですか？

**大澤** 冬は、とても寒いです(笑) 一同(笑)

**大澤** 隙間風はあるし、上を見ても隙間がたくさんあるんですよ。だから、中で暖をとっても暖かいのがキープできないんです。父なんか、寝るときに布団を頭からかぶってました(笑)



**古林** 築何年くらいなんですか？

**大澤** どれくらいだろうな。

**尾上** 150年くらいは経ってますね。

**はじめは取り壊そうと考えた**

**古林** この家を売ろうって思ったきっかけは何でしょうか。

**大澤** 身内で相続する該当の人にしばらく確認したんですが、相続したいという人がいなかった。だから、このまま私が死んだら困ったものだ。建物もかなり劣化している状態だったので、解体を考えて、徐々に荷物を出していきました。

**古林** 取り壊す前提で動いていたんですね。取り壊して更地にして、そのあとどうにかしよう。

**大澤** 更地にしてあげば、とりあえず、動物が入って、とか、廃屋で、とかで、周囲から「やだね」って思われることがなくなりますから。もらってくる人がいれば、じゃあ後はお願いします、ついでできるんですけど、それができない前提で動いていましたので。甥っ子とかも来て遊んでいたんですけど、最終的に欲しいとはならなかったんです(笑) 重荷になるって。

**尾上** 大澤さんは残されましたが、壊したがる方は多いんです。でも壊してしまつと、同じ場所に二度と新築ができないことも多い。古い家を自分で直したがるような人も結構多いんですよ。

空き家バンクへの登録を諦めるが

**大澤** 実は、空き家バンクに登録しませんでした。荷物を整理しているときに、誘いがあったことがあります。

**古林** 役場の人ですか？

**大澤** 役場の人じゃなくて、地元の人かもしれない。それで、役場に寄って書類を持って帰ったんですけど、申請までは至らなかったんです。

**古林** それはやっぱり、申請の手間とか、大変な感じでしたんですか？

**大澤** それもありましたし、なにより、この建物が、**市場価値があると思わなかった**んですね。申請しても、この建物に希望者が現れると思わなかった。だから、ここを壊そうという気持ちは変わらなかったの、そのままになってしまいました。

それから尾上さんがいらつしやうて、話しているうちに、もしかしたら売れるのかな、欲しい人がいるのかな、ついで考えが変わってきて。じゃあ壊すよりも、誰かに住んでもらう方がいいなと思いました。

**古林** 他の人に譲るときに、寂しいという気持ちもあったんじゃないですか？

**大澤** 寂しいというより、とにかくほっとしています。実際にこの家を重機で壊すところを見るならば、見なくて済む方がいいと思いました。

**大澤** 身内に断られて、半分諦めていた



状態のところ、尾上さんから話があって、もしかして他に希望する方がいるのかなと思つて、お願いしました。

**尾上** ご実家に市場価値がないって考えていたので、自分から不動産会社に相談に行くこともなかったですよ。

**大澤** そうですね。

**尾上** あとは、町の空き家バンクの相談窓口があることも、町外なので人から聞くまでわからなかったですよ。

**大澤** ええ。それから、仮に知っていたとしても、出す価値がないと思っていました。

都会の人からみた『価値』

**買主** いろいろ直さなきゃならないところはありますが、**僕は話を聞いて、ほとんど即決**でした。この大昔の梁とか見ると、今じゃ建てられないですよ。

**古林** もともとときがわ町で物件を探していたのですか？

**買主** いや、小川町に知り合いがいて、去年の8月からいろいろ回っています。